

香りが心地よさと機能性をもたらす 100%天然アロマによる 「アロマ空間デザイン」

アットアロマ

アットアロマ(世田谷区三軒茶屋、片岡郷社長、03・6453・4231、<http://www.at-aroma.com>)は、「アロマで空間をデザインする」をコンセプトに、天然の香りもたらす心地よい空間をトータルコーディネートしている。平成10年に設立以来、商業施設やホテル、アパレルショップなど、全国約2,000カ所のパブリック空間で香りによるアロマ空間デザインを手がけている。

アロマ空間デザインとは、「天然の植物から抽出されたエッセンシャルオイルの機能性を最大限に引き出し、心や体、環境への効果に配慮しながら、イメージや雰囲気に合わせて質の高い香り空間をデザインすること」。従来の空間デザインはインテリアや色彩、照明、BGMなどによるコーディネートや演出が一般的だったが、昨今では、そこに香りの演出を加えることで、よりいっそう洗練された質の高い空間づくりが実現する。駅や空港、銀行や役所などの公共機関などでも香りが採用されるケースが増えてきている。

使用するオイルは、さまざまな植物の花や葉、木、



小さな空間で香りを感じる「アロマガラスボール」

果実などから抽出された100%自然素材。世界各地のすぐれた産地を探し、香りの本質を大切にしながら、機能や効果を高めるように、アロマ空間デザイナーの手でブレンドしている。同社のさまざまなクリエイションに一貫するのは、香りの原点は自然そのものであるという信念、その力を空間に活かすきめ細かな感性と丁寧な仕事である。

会社では、パーソナルな空間で使用できる家庭用のディフューザーやブレンドオイルの企画・開発、スクール事業も手がけている。4月発売のアロマディフューザー「duo」は、毎日の暮らしの中で、シーンや気分に合わせて2つの香りを手軽に使い分けられることができる。



暮らしを変える、2つの香りと透明なかたち「duo」